

渡辺先生と私

小野英治

渡辺澄夫先生との出会いは、私事で三十年程前に津久見市のお宅へお伺いをして、先祖の陳元明の記載がある「文録（てい）」（てい）、豊後國海部郡臼杵庄御檢地帳、惣町屋鋪、山口玄（つと）番写」を閲覽させていただいた時に始まります。そして数年後、二十五年程前でしょう。佐伯文化会館で先生の講演があり、豊臣秀吉の朱印状（陳元明宛）を手にとって解説されました。昨年は『弥生町誌』編さんにあたり、前記文禄檢地帳の陳元明関係部分の写真撮影に、大分市大石町へお伺いしました。檢地帳の撮影も快諾いただき、ついでに先生の書齋で記念にスナップを一枚撮らさせていただきました。この時、先生は「弥生町の小野さんといえば城の小野さんじゃな」と言われ驚いたものです。記憶力はすばらしく、佐伯藩政史料の話などされました。その時「町屋についての檢地帳は珍しいですよ」と話されていましたが、檢地帳は田畑の課税台帳と思っている人が割と多いようで、某新聞もそうあったようです。大分県の文化財に指定されたこの檢地帳は宅地にも課税していたことがよく理解できるので好史料です。

昨年の五月『弥生町誌』の献本へお伺いした時は、大変喜ばれ、帰りは屋外までお見送りいただき、停めてある自転車（てい）が車の支障になると、気軽にのけていただいたのには恐縮したものでした。

今年は先生の創設された「大分県地方史研究奨励賞」をいただき、身にあまる光栄と感激するとともに、地方史研究に励む決意を新たにしているところです。

（弥生町国土調査課課長）